



地域おこし協力隊
Instagram (インスタグラム)
#teshikagaram



毎月第3金曜日に開催！
てしかがコミュニTea
※詳しくは弟子屈町HPをご覧ください。



第118回
協力隊
通信



日々の活動を
発信中！

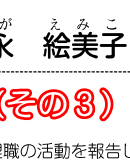


地域おこし協力隊
facebook (フェイスブック)
https://www.facebook.com/teshikagachiiikiokoshi/

協力隊の近況を
お知らせします！



いきなが 生永



えみこ 絵美子

福祉活動包括支援員

昨年度の活動報告 (その3)

昨年度の活動報告、最後は協力隊活動と心理職の活動を報告します。

●協力隊活動

2023年度から始めた「協力隊ひきだし部」。育児復帰してすぐ他の協力隊からファシリテーションの勉強会をお願いされて実施しました。そこで生まれたのがひきだし部の活動でした。その学びを活かして、井戸端交流会「てしかがコミュニTea」を開始しました。その後、お昼ごはんを一緒に食べながら交流ができる「イトイン公民館」や「イトイン第中 (TEICHU SPACE内)」を実施。赤ちゃんから高齢者の方、移住検討者など幅広く交流できる場となりました。また、TEICHU SPACEの空間を活用して「わくわくwork！」を実施。これは、中学生が給食を食べながらさまざまな大人の「働くって何？」を深掘する時間です。弟子屈町には一般的ないわゆる「会社員」以外の働き方をしている方がたくさんいます。働く意味を聴くことはその人の生き方を聴くことに繋がると個人的には感じています。中学時代からいろいろな生き方を知り、大きな視野で世界を見てもらえるきっかけとなる企画と思っています。

その他、弟子屈中学校職業体験や、道庁「ほっかいどう地域おこし協力隊」からの取材がありました。福祉活動は表に出る活動ではないので、代わりに道庁の方に発信していただけてありがたかったです。

●心理職としての活動

心理士として気づけば20年ほどの経験となりましたが、常に新しい学びを大切に、研修や実践を通じて日々アップデートを心がけています。

昨年度は道東地域の心理職が集まる「道東心理職の会」で講師を務めました。また、昨年度からは福祉事業所向けの専門職コンサルテーションや、役場職員向けの個別相談を開始しました。さらに、協力隊2年目から担当している役場新規採用職員研修に加え、今年度からは新人のリアリティショックを和らげるためのフォローアップグループも始めました。

次回は、この活動を踏まえて最終年度となる今年度、どのような活動をしていきたいかお話ししたいと思います。

「ほっかいどう地域おこし協力隊」インタビュー▶



人のうごき

【令和7年5月末現在】

●人口計 6,381 人 (－10)

男 3,069 人 (－1)

女 3,313 人 (－9)

●世帯数 3,699 世帯 (+1)

お悔やみ申し上げます

大塚 秀利さん (74歳) 字弟子屈原野

國安 啓市さん (90歳) 中央3丁目

佐久間 ミワさん (99歳) 泉2丁目

塩澤 要博さん (99歳) 字札友内原野

高橋 房代さん (97歳) 川湯温泉5丁目

館山 政芳さん (84歳) 中央2丁目

※お誕生、お悔やみは、5/1～5/31に弟子屈町に届け出をされた方のうち、掲載を希望された方のみ掲載しています。弟子屈町以外に届け出をされた方で掲載を希望される方は、役場環境生活課町民係までご連絡ください。

佐久間 フズさん (95歳) 字美留和原野

お誕生おめでとうございます

國分 敬葉ちゃん 女 (知貴) 字屈斜路

7月17日(木)は 北海道みんなの日

北海道の名付け親とされる松浦武二郎が、明治政府に「北加伊道」という名称を提案した7月17日は「北海道みんなの日(愛称：道みんの日)」です。この日を、北海道の歴史や文化、風土を見つめ直し、価値を再認識し、北海道の魅力を発信する機会としましょう。

町では道みんの日に合わせ、アイヌ民族資料館が無料開放されます。道内各地の道立施設などでも観覧料や入場料が無料となるほか、記念事業が実施されますので、ぜひご利用ください。※開館状況などは各施設のHPでご確認ください。

問い合わせ先／役場まちづくり政策課政策調整係 ☎482-2913 (課直通)



熱中症に気をつけよう！

皆さんは熱中症になったことがありますか？発症時期は7月～8月がピークと言われています。道路や屋外で発生するイメージがありますが意外にも自宅で救急要請される件数が最も多いのです。熱中症は屋外、屋内でも発生します。しっかりと対策を取ってこの夏を一緒に乗り越えましょう！

熱中症の発生場所 (2017～24年)

熱中症対策と予防

水分補給、暑さを避けよう、涼しい服装をしよう、エアコン・扇風機を使おう、体調に異変を感じた時は早めに休息を、バランスのよい食事で体調をととのえよう

熱中症が疑われる時の応急処置

①熱中症を疑う症状があるか確認しましょう。
めまい・大量の発汗・頭痛・吐き気・嘔吐・倦怠感・意識障害など

②意識がありますか？
なければ救急車を呼び応急処置を始めましょう。呼びかけても反応が悪い場合は水を飲ませてはいけません。

③水分を自力で摂取できますか？
水分・塩分を補給しましょう。大量に汗をかいている場合は、塩分・糖分と一緒に補給できるスポーツドリンク、経口補水液(1Lの水に対して1～2gの塩)がよいでしょう。

応急処置では涼しい場所に避難し、服をゆるめ身体を冷やしましょう。
氷枕や保冷剤で両側の首筋やわき、足の付け根などを冷やしましょう。



火事と救急は119番
弟子屈消防署・川湯支署

☎482-2073 ☎483-2216
E-mail teshikaga.fire.119@bird.ocn.ne.jp
kawayufd@smile.ocn.ne.jp

令和7年6月1日までの出動件数

火災 2件
救急 214件
(川湯支署含む)

寄附ありがとうございます

□滝澤 誠 様 (埼玉県) 【スチームトースター】
・屈斜路古丹生活館オープンのお祝いとして、新生活館で使用してほしい。

□山口 ヨシエ 様 (字奥春別)
現金100,000円
・亡夫(道則)が生前町にお世話になったため、まちづくりに役立ててほしい。

□堀内 秋治 様 (苫小牧市)
現金100,000円
・ふるさとへの応援として、まちづくりに役立ててほしい。

□長谷製菓(株) 代表取締役 長谷 有理子 様
現金100,000円
・シマエナガにちなんだ焼き菓子の売り上げの一部を自然保護活動へ寄附すると謳っていることに併せ、商品販売4周年を記念し、シマエナガが生息する自然環境の保全に役立ててほしい。

□国際ロータリー第2500地区
母子の健康増進委員会 委員長 小田 衣代 様
女性用生理用品 (4用10箱、夜用7箱)
・防災備蓄品としての利用とともに、町内学生の生理の貧困対策などの一助として、災害時と町内の小中高等学校で使用してほしい。

□明治安田生命保険相互会社釧路支社中標津営業所
営業所長兼床出張所長 海田 友弘 様
ゴミ袋60枚
・「自然の番人宣言」協賛のため。

□ふるさと納税 2,506件 45,059,000円